

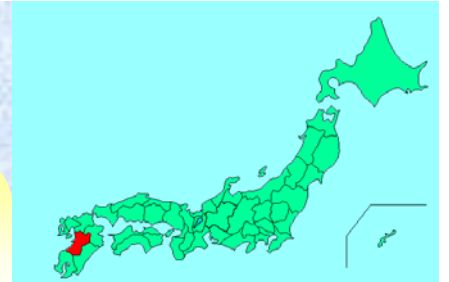


やせがわはし 八勢川橋(仮称)

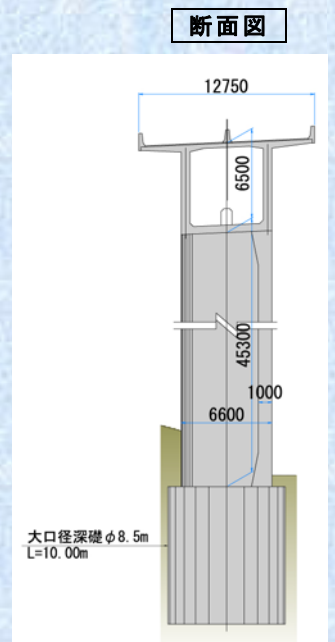
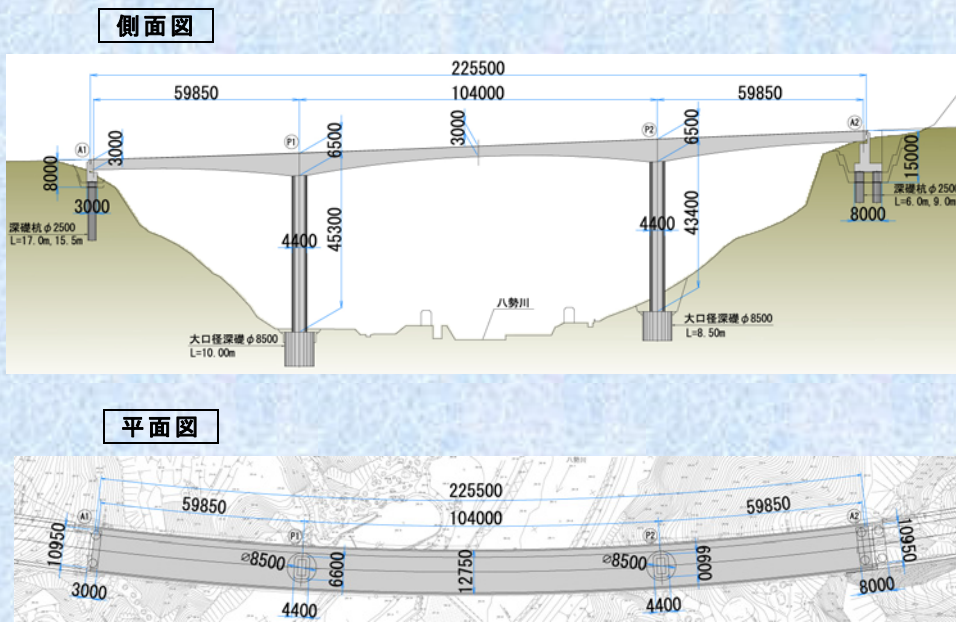
八勢川橋(仮称)は、九州中部を横断して東西を結ぶ九州横断道延岡線の内、熊本県中央部に位置する御船町の山間部で一級河川八勢川に架橋される橋梁です。

本橋は、橋脚高さ約50m、橋長225.5mのPC3径間連続ラーメン箱桁橋です。

本橋は八勢川の豊かな自然を守るとともに自然災害に対する安全確保をテーマに施工しました。また、上空高圧送電線に対する安全対策を実施しました。



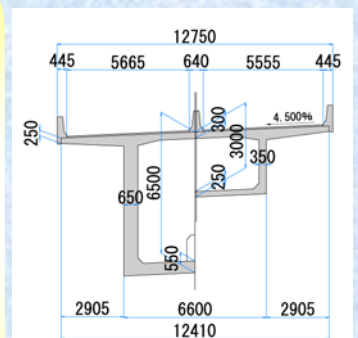
◆一般図



◆橋梁諸元

工事名: 九州横断道(嘉島~山都)八勢川橋上部工工事
 発注者: 国土交通省九州地方整備局
 設計者: (株)日本構造橋梁研究所
 位置: 熊本県上益城郡御船町上野地内
 道路規格: 第1種第3級B規格
 形式: PC3径間連続ラーメン箱桁橋
 荷重: B活荷重
 橋長: 225.5m(59.85+104.0+59.85m)
 総幅員: 12.75m(有効幅員 5.665m+5.555m)
 架設工法: 張出し架設工法
 PC鋼材: 主方向: SWPR7BL 12S15.2 (ディビダーク工法、内ケーブル)
 SWPR7BL 19S15.2EP (ディビダーク工法、外ケーブル)
 横締め: SWPR19L 1S28.6 (SM工法、プレグラウト)

断面詳細図



◆構造・施工概要

- 1) 上部工の施工は張出し架設工法で行いました。本橋は縦断勾配4%のため、架設作業車にサイドストッパーを取り付け、移動時の逸走を防止しました。使用した架設作業車は2基で、P1橋脚から施工し、その後P2橋脚に転用しました。
- 2) 施工時に発生するブリージング水、養生水等の汚水を集水し、濁水処理設備により処理することで流出を防止しました。
- 3) 本工事は河川近辺で行うため、異常水位時の避難または資材の保管場所として利用できるように、構台高さを最高水位よりも高く計画しました。これにより、資材の運搬、揚重等の作業性及び安全性も同時に高めることができました。
- 4) P2上空には、九州全域の電力供給に係わる重要な送電線が通っており、近接して施工しなければなりません。そのため、クレーンブーム3次元位置監視システムを導入して、クレーンブームと送電線の安全離隔距離を確保しながら施工しました。



柱頭部



架設作業車組立



P1張出し架設



架設全景



側径間吊支保工部



送電線との近接作業

◆工程表

項目	平成24年												平成25年												平成26年												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7						
設計照査・準備工																																					
柱頭部																																					
張出し架設部																																					
側径間支保工部																																					
中央連結部																																					
橋面工・付属物																																					
片付け工																																					



三井住友建設

発行：三井住友建設（株）土木本部 土木設計部
 連絡先：東京都中央区佃2丁目1番6号 TEL.03-4582-3063
 URL：http://www.smcon.co.jp